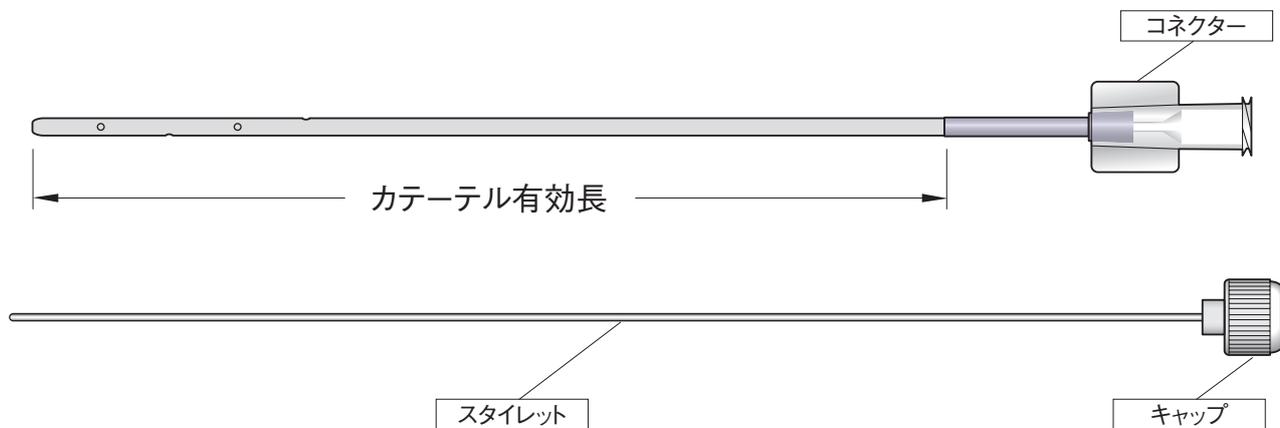


皮下留置カテーテルセット



特長

- ・ 患畜の皮下に留置する、薬液投与を目的としたカテーテルです。
- ・ 簡単に留置できるため、手技者の労力が低減でき、患畜へのストレスも軽減できます。
- ・ エチレンオキサイドガス滅菌処理による個別包装です。

品番	外径 Fr (mm)	有効長 (mm)
3PB5010	6Fr	120
3PB5011		180

動物医療用具製造業許可番号:15療製第439号

[注意事項]

- ・ 本品はディスポーザブル製品ですので使用は1回限りとし再滅菌・再使用しないで下さい。
- ・ ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。

皮下留置カテーテルの使用方法

- (1) 首の背側の穿刺部位を広めに毛を刈って下さい。
- (2) キシロカイン等で局所麻酔後、外科消毒を行って下さい。
- (3) 穿刺部位にメスで小切開を加え、スタイレットを入れたカテーテルを尾側に向かって挿入して下さい。(その際、カテーテルの薄紫色の部位を半分まで挿入し、皮膚を手繰り寄せ、先端を2cm.程尾側へ挿入することでカテーテルが抜けにくくなります)
- (4) スタイレットを入れたまま穿刺部位より尾側約3cm.のところでカテーテルと皮膚を1針縫合。(2-0程度の非吸収性縫合糸)
- (5) スタイレットを抜去後、穿刺部位でカテーテルと皮膚をチャイニーズ・フィンガー・トラップ縫合して下さい。
- (6) カテーテルの注入口は付属のキャップ又はゴムキャップで封止して下さい。
- (7) 薬液注入はカテーテル留置後24時間以降から行って下さい。薬液投与の際は、薬液を36～37℃程度に温めてからご使用下さい。

